

2025 年 7 月 4 日(金)9:00 から CRT スタジオで収録

社会に出る前に、中学・高校時代に身に付けておくべきことを考える

開倫塾

塾長 林明夫

Q：各教科の内容の他に、社会に出る前に、中学・高校時代に身に付けておくべきことは何ですか。

A：(1)「効果の上がる学習方法」が第一です。

- ①社会に出てから、新しく学ばなければならないことがたくさんあります。
- ②自分で勉強する時には、先生はいません。ふつう、テキストを自学自習して学びますので、授業の前の「予習」と同じだからです。
- ③ですから、学校時代に、授業の前に、予め、学習内容を一人で学ぶ「予習」の仕方と、「予習の習慣」を身に付けておくことをおすすめします。

(2)「大切なことを、ノートに取ること」が第二です。

- ①社会に出て、仕事や社会的活動、日常生活をする上で、大切なことをメモすることは、欠かせません。
- ②お客様や、会社などでの打ち合わせで、話し合ったことを全部正確に覚えておくことは難しいからです。
- 「仕事は、メモで身に着ける」といわれるくらい、「大切なことをメモ」し、その「メモを整理し、頭に入れ、仕事をし続けること」が大切です。
- お客様や、仕事仲間と話し合い、約束したことを実行するには、「大切なことをメモする能力」が不可欠です。
- ③「学校の授業中に、大切なことをノートに取る」ことは、社会に出てから、大切なことをメモし、仕事に活かすときに、とても役に立ちます。

(3)「辞書、新聞、読書、図書館に慣れ親しみ、読解力を身に着けること」が第三です。

- ①社会に出て、仕事や、社会的活動、日常生活に必要なことは、「文字や活字、様々な情報を読み解く力、つまり、読解力」です。
- ②「マニュアル(仕事の手引書)」「スマホの内容」「道路標識」「契約書」「数値」「画像」など、様々な情報は、文字や活字、ITなどでどんどん入ってきます。
- それらの情報を「正確に読み解き」、批判的思考能力を駆使して、ドンドン判断し続けないと、仕事は進みません。
- ③社会に出てからが、「読解力」が必要です。その読解力を身に着けるのに、一番役に立つのが、「辞書」「新聞」「読書」です。「図書館」や「本屋さん」もとても役に立ちます。

(4)本や新聞をたくさん読み、「自分で考える力」を身に着ける。特に、歴史や地理、自然科学の本をたくさん読み、ものごとを深く考える力を身に着けることは、社会に出て役立つと同時に、人生を豊かにするのに役立ちます。

Q：最後に一言

A：(1)社会に出てからも一生続けられるスポーツや、文化・芸術活動を、見つける。そのために、
中学校・高校時代に、スポーツや、文化・芸術活動をおすすめします。

(2)①そのスポーツや、文化・芸術活動の「価値(大切さ)」を見つける(考える)、

②自分にとっての「意味」を考え、「意味付け」を行う。

③そして、やること、やらないことを自分で決め、「秩序」正しく、取り組む。

(3)このように、学校で学ぶことは、全部役に立ちます。

しっかりお取り組み下さい。

では、がんばって！！

よろしくお願いいたします。

お身体大切に。

2025 年 7 月 3 日(木)12 時 48 分